

建築士法第 23 条の 6 の規定による 設計等の業務に関する報告書

（第一面）

建築士法第 23 条の 6 の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。この報告書の記載事項は事実と相違ありません。

福井県知事 殿

平成 22 年 3 月 20 日

（一級）建築士事務所 福井県知事登録 第 い - 9999 号

事務所名称 株式会社福井設計一級建築士事務所

所在地 福井県福井市大手 3 丁目〇番〇号

電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

建築士事務所の開設者氏名又は名称

株式会社福井設計

代表取締役 福井 竜太

代表
者印

印

（今回提出する報告書）

事業開始年月日 平成 21 年 1 月 1 日 から

事業終了年月日 平成 21 年 12 月 31 日 まで

（決算日）

法人登録の場合は法人名称・代表者役職・氏名を記載し代表者印を、
個人登録の場合は氏名を記載し個人印を押す。

今回報告する事業年度の
始期と終期を記載する。

〔記入注意〕 建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併せて記載すること。

(記 載 例)

(第二面)

建築士事務所の業務の実績

[記入注意]

- 1 当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
- 2 [例]

| 建築物所在地 都道府県 | 建築物の用途 | 構造及び規模 | 業務内容 | 期間 |
|----------------|--------|--|---------------|----------------------------|
| 東京都 | 共同住宅 | 鉄筋コンクリート造 五階建延 700 m ² | 設計及び 工事監理 | 19. 2. 1 19. 10. 3 |
| 福井県 | 専用住宅 | 木造 2 階建 延 210 m ² | 設計および 工事監理 | H21. 12. 20～ |
| 福井県 | 事務所 | 鉄筋コンクリート造 4 階建 延 760 m ² | 設計 | H21. 8. 20～ H21. 12. 28 |
| 福井県 | 店舗併用住宅 | 木造 2 階建 延 180 m ² | 設計および 申請代理 | H21. 9. 20～ H21. 12. 10 |
| 石川県 | 専用住宅 | 木造 2 階建 延 160 m ² | 設計 | H21. 8. 1～ H21. 11. 10 |
| 福井県 | 工場 | 鉄骨造 平屋建 延 3, 000 m ² | 工事監理 | H21. 5. 10～ H21. 10. 30 |
| 福井県 | ホテル | 鉄骨造 3 階建 延 1, 500 m ² | 定期調査 報告 | H21. 6. 1～ H21. 6. 10 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

構造・階数・延床面積
についてもれなく記入する。

工事施工は
含まない。

事業年度中に実施し
た業務について完了
日が新しいものから
順に記入する。

(記 載 例)
(第三面)

所属建築士名簿

所属建築士対象の「定期講習」のこと。受講年月日を記入する。

| 氏 名 | 一級建築士、二級建築士又は木造建築士である場合は、その旨 | 登録番号 | 登録を受けた都道府県(建設士建築士の場合) | 建築士法第22条第1号から第3号まで定める講習を受けた年月日 | 構造設計一級建築士又は構造設計二級建築士である場合は、その旨 | 構造設計一級建築士又は構造設計二級建築士の登録番号 | 建築士法第22条第4号及び第5号に定める講習の受講年月日 |
|---|------------------------------|--------|-----------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------|------------------------------|
| 福井 太郎 | 一級建築士 (管理建築士) | 999999 | | | | | |
| 越前 花子 | 一級建築士 | 987654 | | | | | |
| 若狭 建 | 二級建築士 | 11111 | 福井県 | | | | |
| <p>この欄の記載は、構造設計一級建築士講習一級建築士を修了し、登録した建築士のみが対象となります。二級・木造は建築士事務所通常記載することはありません。</p> | | | | | | | |
| <p>管理建築士を含め、事業年度終了日における所属建築士をすべて記載してください。管理建築士はその旨の記載が必要です。</p> | | | | | | | |
| 計 | | | | 一級建築士 | 2 | 名 | |
| | | | | 二級建築士 | 1 | 名 | |
| | | | | 木造建築士 | | 名 | |
| | | | | 構造設計一級建築士 | | 名 | |
| | | | | 設備設計一級建築士 | | 名 | |

管理建築士の方はその旨の記載が必要です。

構造/設備設計一級建築士定期講習のこと。受講年月日を記入する。

(記 載 例)

(第四面)

所属建築士の業務の実績

[記入注意]

1 所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入して下さい。

2 [例]

国土 太郎 東京都 共同住宅 鉄筋コンクリート造
五階建延 700 m² 設計及び
工事監理 平成
19. 2. 1
19. 10. 3

| 所属建築士の氏名 | 建築物所在地都道府県 | 建築物の用途 | 構造及び規模 | 業務内容 | 期間 |
|-------------------------|------------|------------|--|---------------|--------------------------------|
| 福井 太郎 | 福井県 | 専用住宅 | 木造 2 階建 延 210 m ² | 設計および 工事監理 | H21. 12. 20 ～ |
| 〃 | 福井県 | 事務所 | 鉄筋コンクリート造 4 階建 延 760 m ² | 設計 | H21. 8. 20 ～ H21. 12. 28 |
| 〃 | 福井県 | 店舗併用 住宅 | 木造 2 階建 延 180 m ² | 設計および 申請代理 | H21. 9. 20 ～ H21. 12. 10 |
| 〃 | 福井県 | 工場 | 鉄骨造 平屋建 延 3, 000 m ² | 工事監理 | H21. 5. 10 ～ H21. 10. 30 |
| 〃 | 福井県 | ホテル | 鉄骨造 3 階建 延 1, 500 m ² | 定期調査 報告 | H21. 6. 1 ～ H21. 6. 10 |
| 越前 花子 | 福井県 | 専用住宅 | 木造 2 階建 延 210 m ² | 設計および 工事監理 | H21. 12. 20 ～ |
| 〃 | 福井県 | 事務所 | 鉄筋コンクリート造 4 階建 延 760 m ² | 設計 | H21. 8. 20 ～ H21. 12. 28 |
| 若狭 建 | 石川県 | 専用住宅 | 木造 2 階建 延 160 m ² | 設計 | H21. 8. 1 ～ H21. 11. 10 |
| 敦賀 幹朗 H21. 11. 30 退職 | 石川県 | 専用住宅 | 木造 2 階建 延 160 m ² | 設計 | H21. 8. 1 ～ H21. 11. 10 |
| | | | | | |
| | | | | | |

年度途中で退職し、第三面の所属建築士名簿に記載されていない建築士についても実績があれば記入して下さい。この場合、退職年月日を記入して下さい。

(記 載 例)
(第五面)

管理建築士による意見の概要

[記入注意]

当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。

| 管理建築士の 氏名 | 建築士事務所の開設者に対して述べられた意見の 概要 | 当該意見が述べられた日 |
|--------------|----------------------------------|-------------|
| 福井 太郎 | 委託契約の締結にあたっては履行期間に余裕を持たせるよう助言した。 | H21. 8. 10 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

開設者と管理建築士が異なる場合に作成してください。意見が述べられなかった場合は、「該当なし」等の記載をしてください。

【建築士法第 24 条第 3 項】
管理建築士は、その建築士事務所の業務に係る技術的事項を総括し、その者と建築士事務所の開設者が異なる場合においては、技術的観点からその業務が円滑かつ適正に行われるよう必要な意見を述べるものとする。